

(文 書 番 号)
〇〇年〇〇月〇〇日

クラウド・地域人材利用型プログラミング教育実施モデル実証事業公募事務局（平成
28 年度第 2 次補正予算）あて

(申請主体名)
(代表者の職) (代表者の氏名)

「若年層に対するプログラミング教育の普及推進」事業に係るクラウド・地域人材利
用型プログラミング教育実施モデル実証事業（平成 28 年度第 2 次補正予算） 実施計画
書（提案書）等の提出について

「若年層に対するプログラミング教育の普及推進」事業に係るクラウド・地域人材利
用型プログラミング教育実施モデル実証事業（平成 28 年度第 2 次補正予算） 実施計画
書（提案書）等について、別添のとおり提出します。

「若年層に対するプログラミング教育の普及推進」事業
 クラウド・地域人材利用型プログラミング教育実施モデル実証事業（平成
 28年度第2次補正予算）
 実施計画書

提案主体	
提案主体名	<p>※団体名を記載</p> <p>例1) 株式会社〇〇</p> <p>例2) 〇〇市教育委員会</p> <p>※連携主体の場合は、全構成団体と代表団体を記載</p> <p>例：連携主体（〇〇株式会社、・・・及び・・・） 代表 〇〇株式会社</p>
代表者名	<p>例1) 株式会社〇〇 代表取締役社長〇〇</p> <p>例2) 〇〇市教育委員会 教育長〇〇</p> <p>※連携主体の場合は、代表団体の代表者名を記載</p>
提案主体の形態	<p><input type="checkbox"/>学校の設置者 <input type="checkbox"/>民間企業 <input type="checkbox"/>特定非営利法人 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>※構成団体の該当する形態をすべてチェック（■）すること。</p>
担当者名及び連絡先	<p>氏名〇〇（所属・肩書：〇〇）</p> <p>住所：〇〇県〇〇市〇〇町〇〇</p> <p>電話番号：00-1234-5678</p> <p>E-mail：*****@*****. **</p>

0. 必要要件への同意等（以下の要件に同意する場合、代表者印を押印すること）

- a. 本事業への応募及び本事業の実施に当たっては、「クラウド・地域人材利用型プログラミング教育実施モデル実証事業 平成28年度第2次補正予算 公募要領」を遵守するとともに、総務省及びコーディネーター事業者の指示に従うこと。
- b. 本事業の実施に当たり、総務省及びコーディネーター事業者、学校現場等との調整を迅速かつ的確に図るため、ICT及び教育に精通したプロジェクトマネージャーを置くこと。

代表者名 〇〇 〇〇 印

1. 実証校

※ 記載情報については、平成29年4月1日現在（予定）のものとする。

※ 実証校が複数となる場合は、学校単位で以下の様式を作成すること。

項目	内容
対象地域	第1希望 ○○ブロック（A県）・△△ブロック（B県） 第2希望 □□ブロック（C県、D県） 第3希望 ××ブロック（E府）、◇◇ブロック（F県） ※第2、第3希望がない場合は、記載不要。 ※第2、第3希望は、以下の項目について記載不要。
校種	小学校 or 中学校 or 義務教育学校 or 高等学校 or 中等教育学校 or 特別支援学校 or 社会教育施設 or その他から記載
学校名（ふりがな）	○○市立○○小学校（○○）
所在地	○○県○○市○○町X-X-X
全校児童生徒数	○○人
講座の実施形態	（放課後、土曜日、日曜日、夏休みなど、実施時期を記載）に、○回（1回当たり○時間）実施
講座の募集対象（学年・児童生徒数・学級数）	○学年：○人（○学級） ○学年：○人（○学級） ○学年：○人（○学級）
※他校の児童生徒が含まれる場合	複数の場合は、適宜行を追加すること。
学校名（ふりがな）	○○市立○○小学校（○○）
所在地	○○県○○市○○町X-X-X
実証校における情報端末及びネットワークの整備状況	実証において使用予定の情報端末、校内LAN等のネットワーク環境について、詳細を記載すること。
その他	特筆すべき事項等があれば記入すること。

2. 実施計画

※：必要に応じてイラストや図を入れるなど、わかりやすく記載すること。

<計画概要>

項目	内容
タイトル	提案内容の訴求ポイントを見据えて、タイトルを付すこと。
概要	提案内容の訴求ポイントを含め、実証の概要についてわかりやすく記載すること。
プログラミング指導者（メンター）の育成	<p><対象者> 地域のどのような属性の人材をメンターとして育成するのか、育成予定人数を含め、具体的に記載すること。</p> <p><募集方法> 当該人材をどのように募集して育成講習を開催するのか、具体的に記載すること。</p> <p><育成方法> 誰が講師となり、どのような内容・教材により、どのような計画で、どのようにメンターを育成するのか、具体的に記載すること。</p> <p><新たな実証項目> 当初事業との関連で、どのような点を新たに実証しようするのか、具体的に記載すること。</p>
プログラミング講座	<p><目標> 当該講座を通じ、例えば「このような力、又は論理的思考力や課題解決力、創造力等を身につけさせる」など、単なる体験にとどまらない具体的な目標を設定し、記載すること。</p> <p><効果測定方法> 上記<目標>欄に記載の内容について、講座の前後での効果測定方法を具体的に記載すること。</p> <p><テーマ> 慣れ親しむ取組か発展的な取組のいずれかを選択した上で、()の中に、例示して</p>

	<p>いるような内容を記載すること。</p> <p>慣れ親しむ取組（ ） or 発展的な取組（ ）</p> <p>例：プログラミング的思考の意義や社会におけるプログラミングの役割を理解させる取組、ゲーム制作、アプリ制作、ウェブデザイン、ロボット制御、ものづくり</p> <p><プログラミング言語・ツール> テキスト言語（ ） or ビジュアル言語（ ） ※ロボット等のツールを用いる場合は、あわせて記載すること。</p> <p><方法> 誰が講師となり、どのような内容・教材により、どのような計画（講座の日数、回数、1回の時間幅を含む）で、どのように講座/学習を行うのか、具体的に記載すること。</p> <p><定員> ○人 ※複数のクラスを開設する場合は、開設予定のクラス数、クラスごとの定員、クラス分けの考え方（学年別、習熟度別、言語別等）についても記載すること。</p> <p><特記事項> 実証研究の新規性や、講座以外の発展的・補足的な学習機会の提供など、特記すべき内容があれば記載すること。</p>
実証終了後の自走・普及に向けた構想	<p>実証終了後、①当該地域においてどのように活動を継続していくのか、②他地域にどのように活動を横展開していくのか、取組の自走・普及に向けた構想について記載すること。</p>
費用対効果	<p>経費支出計画に対する実証成果・効果の優位性、効率的に実証を進めるための工夫等について記載すること。</p>

＜年間スケジュール＞

実証の年間スケジュールについて簡潔に図示すること。

＜実証の実施体制＞

実証校を含め、関係者の役割分担が明確にわかるように体制図を記載すること。

3. プロジェクトマネージャーに関する情報

項目	内容
組織名、役職	××株式会社、××部××課 課長
氏名	○○ ○○
住所	○○県○○市○○ ○○ ○○
電話番号	00-1234-5678
E-mail	*****@*****.**
特記事項	本実証におけるプロジェクトマネージャーとしての職務に関連する、これまでの経験について記載